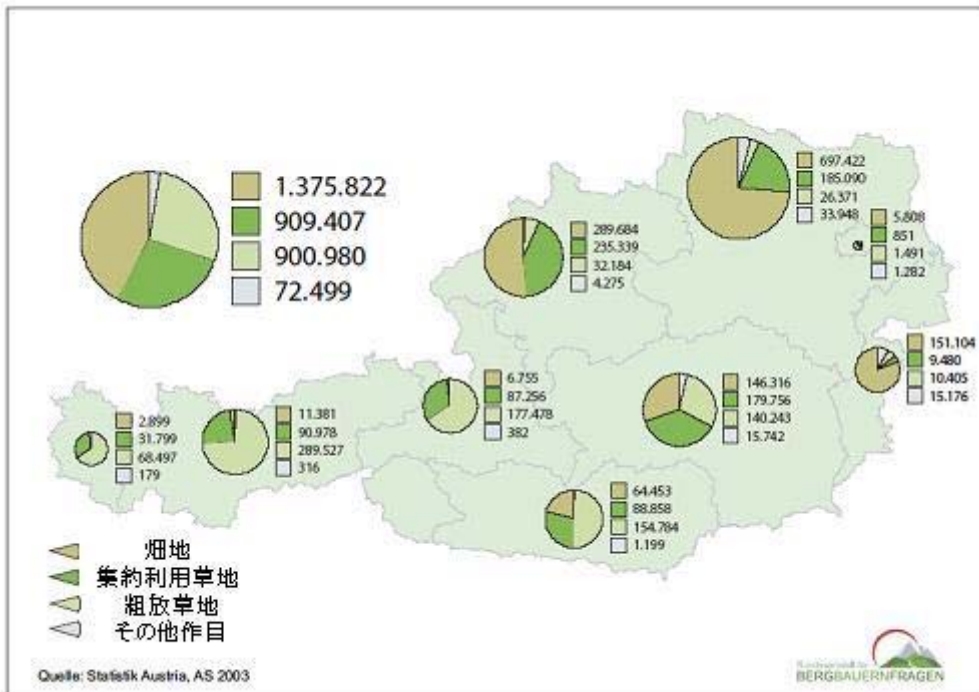


オーストリアの農業環境プログラム

1 オーストリア農業の作目分布、経営規模

オーストリア全土における農業の作目分布は図表1のとおりである。畑地（Acker）と草地で半分半分で、草地は集約的利用と粗放的利用が半々である。9つの州の畑地と草地の構成は、草地中心の高地州と畑地中心の低地州に大別され、その中間地帯に畑地と草地の均衡がとれた州が挟まれている。

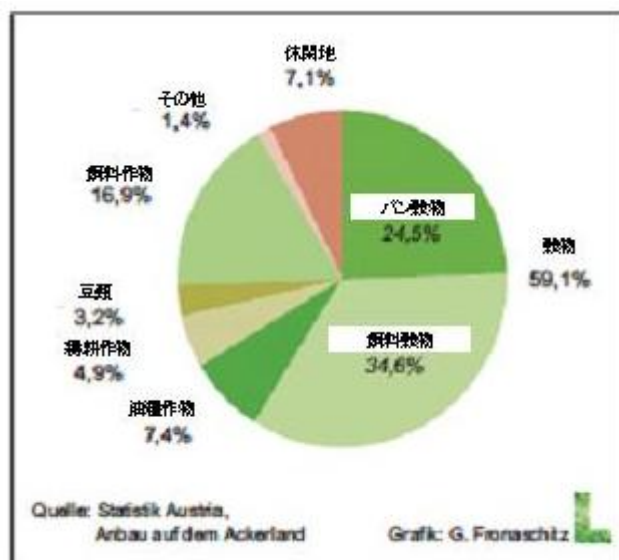
図表 1 オーストリアにおける作付分



資料 : Grüne Bericht 2005, p54

畑地における作物構成は図表 2 である。パン穀物は 4 分の 1 だけで、飼料用が穀物と飼料作物を合わせて半分を占める。

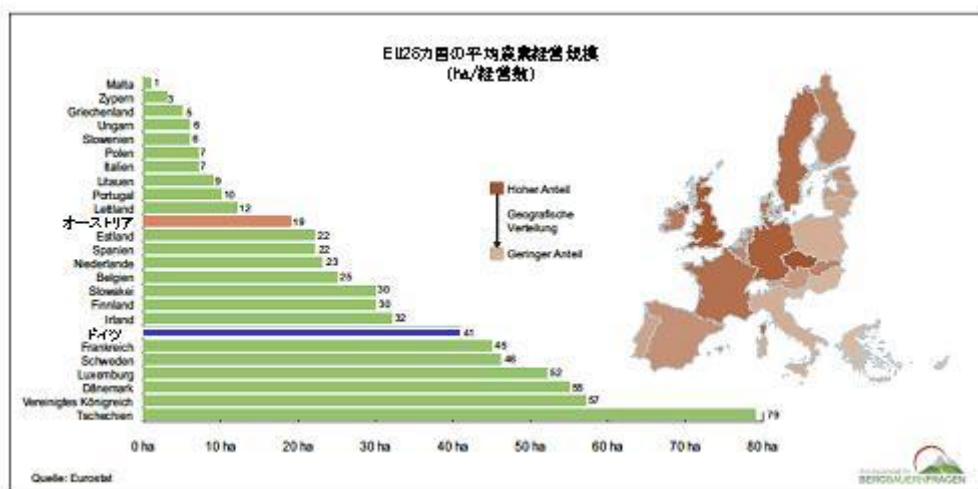
図表 2: 畑地における作物分布 (2004 年)



資料 : Grüne Bericht 2005, p55

19 万戸の農林業経営の平均面積は 19 ヘクタールで、規模別構成割合は、5 ヘクタール以下 21.3%、5~10 ヘクタール 18.0%、10~20 ヘクタール 21.4%、20~30 ヘクタール 13.6%、30~50 ヘクタール 14.0%、50~100 ヘクタール 7.8%、100~200 ヘクタール 2.2%、200 ヘクタール以上 1.7%であり、小規模構造である。このことは図表 3 によっても分かる。なお、専業農林家は 42.3%、兼業農林家が 53.7%である。

図表 3: EU25 カ国の平均農業経営規模



資料 : Grüne Bericht 2005, p63

2 農業環境プログラム(OPUL2000)の概要

95年のEU加盟により、95年にOPUL95が、98年にOPUL98が策定された。OPUL2000の概要は以下のとおりである。

1) 名称 : Oesterreichische Programm zur Foerderung einer umweltgerechten, extensiven und den natuerlichen Lebensraum schuetzenden Landwirtschaft 環境調和的、粗放的、生活空間保護的な農業の助成のためのオーストリア・プログラム・2000

2) 助成目標

- ・社会全体のために、環境、景観とそのメルクマール、自然資源、土地、及び遺伝的多様性の保護と改善に合致する生産手法の導入または保持に対する刺激
- ・集約度の低い環境調和的な農業と放牧（草地農業）の助成
- ・農業に利用され、脅かされている特に価値のある農耕景観の維持
- ・農地における景観と歴史的メルクマールの維持
- ・環境計画の農業活動への導入の促進
- ・農業経営の経営者に対する適切な所得の確保
- ・生態的な均衡への貢献と国家的、共同体的農業政策と農業環境政策の目標の実現への貢献

3) 助成条件

(1) 義務期間: 5年間の利用、保全。景観要素の新植、エコロジー的に価値ある土地の利用、保全は、10年間ないし20年間

(2) 最小経営規模: 義務期間を通して必要

- ・農地 0.5ヘクタール: 合計で、特殊作物（ワイン栽培、果樹、園芸、苗木床、ホップ）、薬草・香辛料栽培では0.25ヘクタール以上、保護栽培状態では0.1ヘクタール以上の経営
- ・その他の経営では、2ヘクタール

(3) 最低限の参加措置面積はない。

(4) 助成金額の上限（ヘクタール当たり）

畑地（Ackerland） 690.39ユーロ

草地（Gruenland） 690.39ユーロ

ただし、下記の措置への参加では、872.07ユーロ

- ・傾斜地の草地刈取りによる農耕景観の保全（図表4の17）の傾斜度3（傾斜50%以上）
- ・維持に値する特別な小さな畑地、草地、ワイン栽培地の利用（図表4の26）
- ・エコロジー的に価値ある土地の利用、保全（図表4の27）
- ・エコロジー的に価値少ない畑地、草地での景観要素の新植（図表4の28）
- ・水質保護プロジェクト（図表4の31）

(5) モジュレーション

減額：それぞれの措置により助成される面積の措置当たり助成金額は、次のとおり（カッコ内は有機的経営方法の場合）。

100ヘクタールまで	100%（100%）
100～300ヘクタール	85%（92.5%）
300～1000ヘクタール	75%（87.5%）
1000ヘクタール超	65%（82.5%）

(6) 組み合わせリスト

別表（省略）のように組み合わせが可能である。休耕地にはこのプログラムによる助成はない。

(7) 乗り換え

95プログラム、98プログラムに基づく全ての義務は、義務期間の間でも、乗り換えを理由とした払い戻し義務が生じることなく、その年の終わりに終了する。その代わり、その翌年に、95プログラム、98プログラムと生態的に同価値のある2000年プログラムの施策に参加しなければならない。

4) 特色

・総合的、水平的なプログラム

・EU理事会規則1257/99（「欧州農業指導保証基金による農村振興助成に関する理事会規則」）に基づく。適用年は2001年から2005年末。ただし、05年秋の申請により、06年まで延長可能。これはEUの地域政策を支える「構造基金」の第3期が2000年～2006年であることに対応している（農村振興助成を担当する欧州農業指導基金は、構造基金の1つである）。この措置は、次期プログラムOPUL2007-2013への移行が容易になるためである。・2000年時点には、先行プログラムのOPUL95、OPUL98とOPUL2000の3プログラムが併存した。新規加入はOPUL2000だけが可能であった。ただし、OPUL95には約500経営、OPUL98には17,500経営がなお参加しており、それぞれのプログラム終了時点まで契約は有効であった。

・助成事務：オーストリア農業市場（Agrarmarkt Austria：AAA）が行う。参加農家は農業会議Landwirtschaftskammerを通してAAAに申請する。農家の相談に乗る普及員は農業会議に所属しているからである。AAAは助成金額を決定し、農家の契約履行をコントロールし、農家が違反したケースでは制裁内容を決定する。州の自然保護官庁は自然保護に深く関わるケースで助成事務に関与するし、州の農業官庁は地域プログラムのケースで関与する。

5) 先行プログラムとの相違点

(1) 経営関連手法の強化。個々の農地関連手法はプロジェクトの場合のみで、自然条件に

よって限定される（例。17番、傾斜地の早刈り、山岳の草地刈取り）

(2) 自然保護と草地、畑作、特殊作物に対する措置の開発、選択枝の拡大、助成金の増額。助成金が増えた分は重点的に、エコロジカルに特別の価値ある措置（自然保護、地下水保全、有機的経営方法）へ、また、秋冬の緑化のバリエーションの追加

(3) 助成金の上限の緩和（例。17番・傾斜地の景観保全措置、30・31番・プロジェクト関連の自然保護に重要な全ての措置）と、特別に維持の価値ある果樹、ワイン栽培面積（26番）との関連での措置の結合（例。特にきつい傾斜テラス畑）

(4) 草地と特殊作物の有機的経営方法措置での助成額の引き上げ（2番の一部）。これにより、草地の他の措置との差額が拡大

(5) EU 共通市場政策（価格、調整金）と経済的条件の変化に基づいた助成額の部分的変更

(6) 95年からの経験と知見の技術的、法的な考慮

(7) 統合的生産の各分野の細部規定を現在の知識水準に応じて変更

(8) 事業区域の見直し（例。水質保護の措置区域）

(9) 助成金額が高い措置への乗り換えは有効な義務期間の第3年目まで可能（5年間の義務期間を新しく始めなくても可能）

(10) 助成の前提条件の単純化と統一化（他の助成と一緒にでも）。上限、下限、差額付け、算定要素について（例。大家畜換算、草地削減要素）

(11) 95年プログラムの *Elementarforderung* から *Grundforderung*（1番の基礎助成）への発展。つまり、基礎助成への参加条件として、他の措置への参加を義務づけた。既に98年で一つの措置への参加を義務づけていたが、これが2つに拡大された。

（注）基礎助成とは

・助成対象：経営の農地（畑作物、特殊作物、アルムを除く草地）を下記の前提条件で利用すること。

・助成の前提条件：

その1 経営の全農地（畑作物、特殊作物、アルムを除く草地）の利用

その2 農地1ヘクタール当たり大家畜頭数上限は2.0

その3 付表2の厩肥表（*Duengetabelle*）の数値を遵守

その4 付表3の景観要素の維持・手入れ

その5 最低限、他の2つの措置への参加

その6 草地について。義務期間を通して *Gruenland-Ausmass* の維持

その7 畑地について。2ヘクタールの畑地で、穀物とトウモロコシの上限は85%

その8 特殊作物

 ワイン栽培

 果樹栽培

(12) 畑地の秋期、冬期の緑化（22番）ではバリエーションの増加（とくに長期間緑化）。これに対しては多機能性の理由から助成金が増えたが、窒素保持能力が改善され、地下水へ

の硝酸塩浸透を削減する。

(13) またこの措置の中で、冬ナタネの作付けについて強く考慮することに成功したので、冬ナタネ作付けの多い経営は緑化割合を減らさなければならない。

(14) 統合的生産（7番）をイチゴ、ジャガイモ、ホップなどに拡大し、ガラス温室、ビニール栽培に拡大

(15) 義務期間中の景観要素の維持の規定を厳密化し、景観要素の設置（新植？）の標準手続きを新設した。

(16) 粗放化手法をナタネ、ヒマワリ、ダイズ、トモロコシにも拡大

(17) 果樹とワインの統合的生産から、浸食防止と除草剤不使用を分離

(18) 自然保護と水質保護の分野のプロジェクトに工夫の余地を拡大（省略）。

(19) 違反の場合は制裁がありうることを義務期間の最初に通知。制裁する場合は、以前よりも、「総合的管理・監視システム」の規定を重視

(20) 申請書をいっそう簡易化。これにより、最初の申請（例。2000年秋申請）が5年間有効となり、従来の様式での支払い申請（措置の毎年証明）は不要になった。多重申請では、従来どおり、毎年、利用面積、変更、追加、修正などを通知しなければならない

3 農業環境プログラム(OPUL)の施策(助成措置)

2004年の参加農家数は13万4114戸で、約17万戸の総農家数の78%が参加している。1戸当たり平均助成額は4,790ユーロである。参加農地は226万ヘクタールで、全農地面積の89%である（アルム面積を除く）。このように高い参加率はEUのトップである。

個別の助成施策では、図表4、5、6が示すように、基礎助成が従来どおり、参加面積、助成額の両方で最大である。助成額では、次が畑地の緑化措置である。第3位が有機的経営方法で、前年比で面積、助成額とも5%の増加である。次に草地の経営資材不使用と畑地の経営資材削減がくる。傾斜地の草地刈り取りによる農耕景観の保全や、アルム放牧と家畜番は特に山岳地域にとって重要である。エコ・ポイントは低オーストリア州だけに助成されている。エコロジー的に価値ある土地の利用、保全は前年比9.8%の増加である。32種類の施策（助成措置）の10種類だけで、全助成額の86%に登る。「その他」は各州に特有の施策であり、主に州の財源によっていて、1,767ユーロ万になる。

図表 4: ÖPUL の助成措置(2004 年)

助成措置	参加面積 (ha)	参加農家数 (戸)	助成額 (百万ユーロ)
1. 基礎助成	1,998,292	119,231	101.00
2. 有機的経営方法	309,325	18,292	90.62
3. 収穫増加をもたらす経営資材の不使用(草地)	446,890	48,328	68.86
4. 収穫増加をもたらす経営資材の不使用(畑地)	39,930	12,053	8.68
5. 収穫増加をもたらす経営資材の削減(草地)	111,043	19,874	9.69
6. 収穫増加をもたらす経営資材の削減(畑地)	497,108	37,575	61.68
7. 統合的生産 果樹栽培	8,364	1,816	3.64
8. 果樹栽培の化学除草剤の不使用	321	248	0.02
9. ワイン栽培の統合的生産	36,566	8,711	15.92
10. ワイン栽培の化学除草剤の不使用	20,596	5,530	1.50
11. 露地の野菜, 薬草, 香辛料栽培の統合的生産	31	16	0.01
12. 露地の観賞用作物の統合的生産	366	17	0.17
13. 保護栽培状態の作物の統合的生産	165	207	0.45
14. 成長調整剤の不使用	65,814	12,884	2.87
15. 殺真菌剤の不使用	28,672	4,106	2.08
16. 特定地域のサイレージの不使用	109,862	9,430	20.12
17. 傾斜地の草地刈取りによる農耕景観の保全	202,820	53,063	40.98
18. アルム放牧と家畜番	450,745	8,161	23.55
19. 絶滅危機に瀕している家畜種の飼養		3,963	2.83
20. 希少な農業用植物の栽培	8,349	1,959	1.49
21. 粗植果樹(粗植果樹園の採草地と樹列)の維持	14,682	22,524	1.60
22. 秋期, 冬期の畑地の緑化	1,088,371	57,846	97.85
23. 畑作の侵食防止	131,184	12,652	5.69
24. 果樹栽培の侵食防止	10,277	2,490	1.74
25. ワイン栽培の侵食防止	39,975	10,331	6.54
26. 維持に値する特別な小さな畑地, 草地, ワイン栽培地の利用	12,532	2,485	1.47
27. エコロジー的に価値ある土地の利用, 保全	50,991	18,815	22.55
28. エコロジー的に価値少ない畑地, 草地での景観要素の新植	8,682	4,390	5.15
29. エコ・ポイント (低・オーストリア州)	71,293	3,868	27.00
30. 地下水保護と草地維持の地域プロジェクト(ザルツブルク州)	28,687	2,164	3.75
31. 水質保護プロジェクト	134,145	4,138	11.80
32. 自然保護計画の策定	7,359	2,204	0.71
計	2,263,457	134,114	642.01

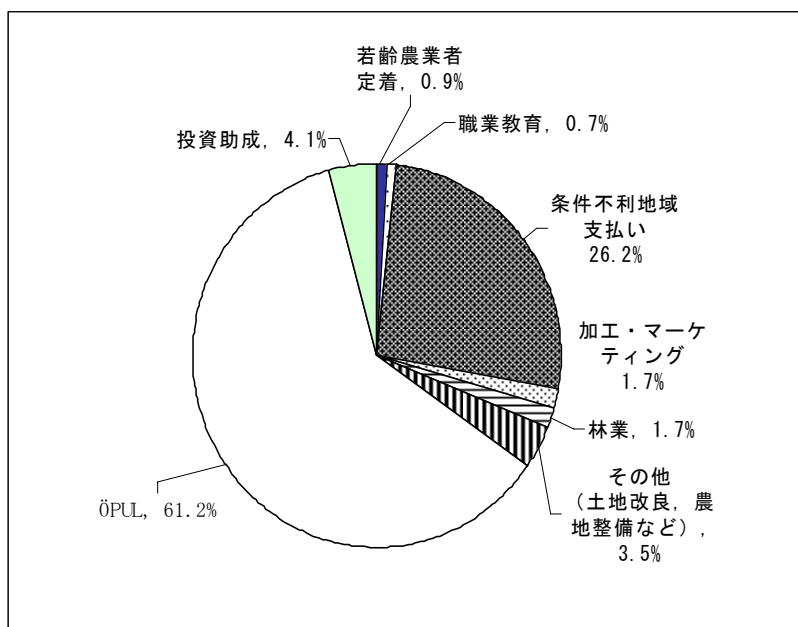
資料: Grünerr Bericht 2005, pp. 247

図表 5: ÖPUL の施策別助成金割合(計 642.01 百万ユーロ)

施策	割合 (%)
1. 基礎助成	15.7
22. 秋期, 冬期の畑地の緑化	15.2
2. 有機的経営方法	14.1
3. 収穫増加をもたらす経営資材の不使用(草地)	10.7
6. 収穫増加をもたらす経営資材の削減(畑地)	9.6
17. 傾斜地の草地刈取りによる農耕景観の保全	6.4
29. エコ・ポイント (低・オーストリア州)	4.2
18. アルム放牧と家畜番	3.7
27. エコロジー的に価値ある土地の利用, 保全	3.5
その他	16.8
合計	99.9

資料: Grünerr Bericht 2005, p.105

図表 6: 2004 年農村振興(理事会規則 1257/99)の助成割合

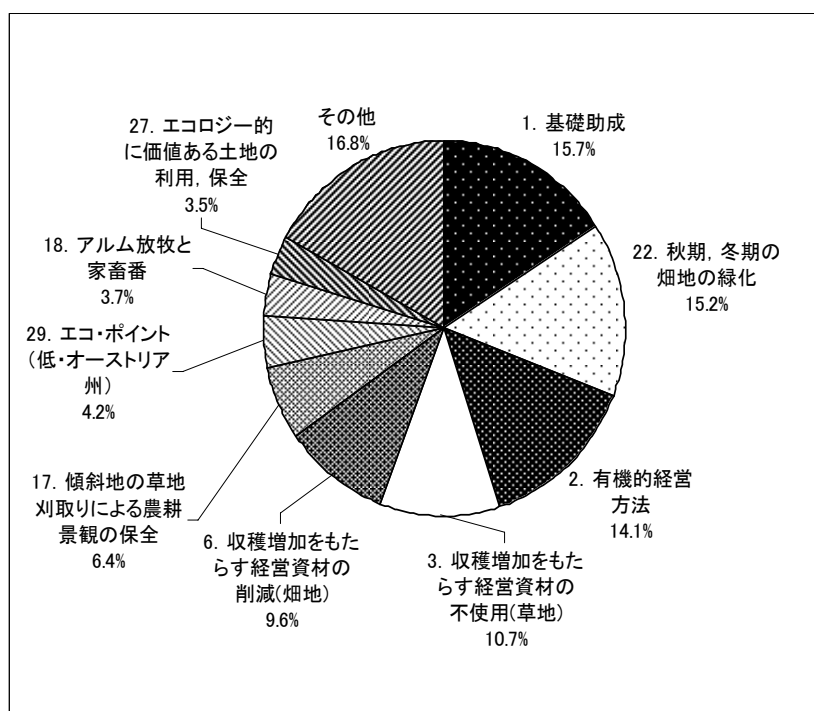


資料: Grüner Bericht 2005, p103

4 農村振興政策の中の農業環境プログラムの位置

アジェンダ 2000 にそって、共通農業政策の第 2 の柱として農村振興（農村開発）が実施されている。理事会規則 1257/99 の助成割合は図表 7 に示されている。OPUL が 61.2% を、条件不利地域 26.2% で、合わせると 87.4% となり、大部分を占めている。

図表 7: ÖPUL の施策別助成金割合 (計 642.01 百万ユーロ)



資料: Grüner Bericht 2005, p. 105

5 農業環境プログラムの 10 年間の展開

図表 8, 9, 10, 11 は、農業環境プログラムの 10 年間の歩みを表している。参考までに、条件不利地域支払いの 10 年間の推移も図表 1 2 に示している。

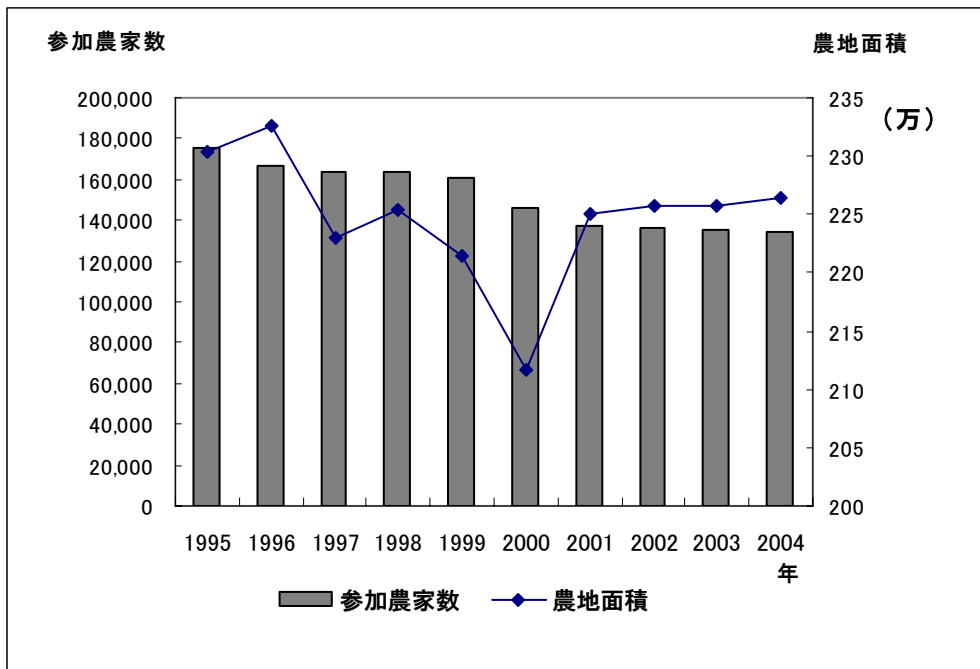
図表 8: ÖPUL 制定から 10 年間の展開(参加農家数, 農地面積, 助成額)

年	参加農家数 (戸)	割合 (%)	農地面積 ^{※1} (ha)	割合 (%)	助成額 (百万円)	平均助成額 (円/戸)
1995	175,137	78.3	2,302,968	88.2	527.62	3,013
1996	166,357	76.2	2,326,031	88.9	593.71	3,569
1997	163,716	77.0	2,230,429	86.3	525.86	3,212
1998	163,423	78.9	2,253,994	87.0	548.58	3,357
1999	160,944	79.9	2,214,872	86.6	552.06	3,430
2000	145,717	74.3	2,117,197	83.7	543.42	3,729
2001	137,537	72.2	2,250,930	88.2	586.33	4,263
2002	136,381	73.7	2,257,128	88.3	607.88	4,457
2003	135,157	76.4	2,257,263	88.3	630.65	4,666
2004	134,114	78.3	2,263,457	88.8	640.28	4,774

※1 農地面積にアルム面積 (Almflächen) は含まない。

資料: Grünerr Bericht 2005, p. 247

図表 9: ÖPUL 参加農家数と農地面積の 10 年間の推移



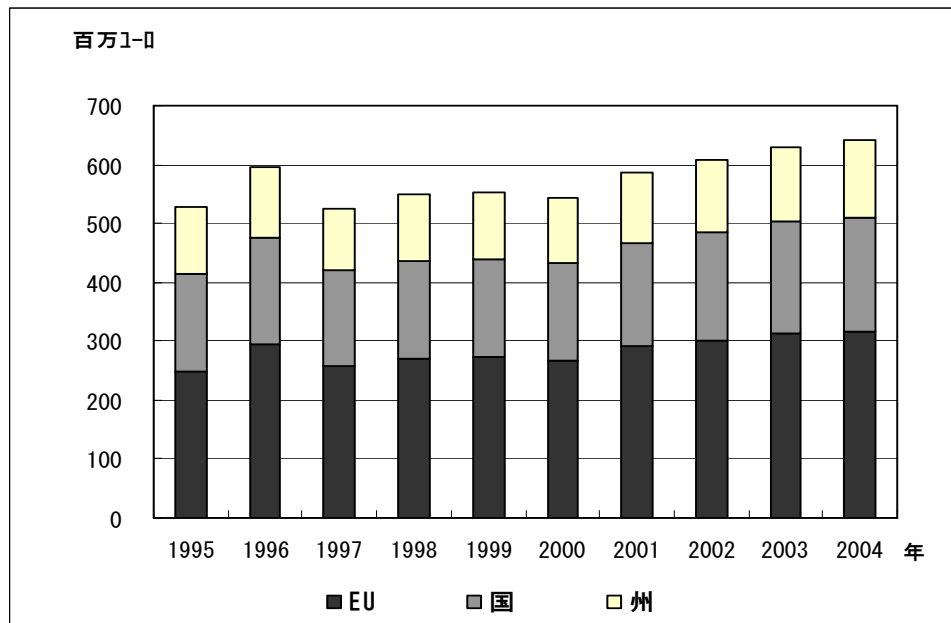
資料: Grünerr Bericht 2005, p. 247

図表 10: ÖPUL 助成額の 10 年間の分担割合 (単位: 百万ユーロ)

年	EU		国		州		合計
	額	割合	額	割合	額	割合	
1995	247.82	47.0%	167.88	31.8%	111.92	21.2%	527.62
1996	293.56	49.4%	180.88	30.5%	120.06	20.2%	593.71
1997	259.35	49.3%	159.89	30.4%	106.62	20.3%	525.86
1998	269.08	49.1%	167.70	30.6%	111.80	20.4%	548.58
1999	271.98	49.3%	168.05	30.4%	112.03	20.3%	552.06
2000	268.06	49.3%	165.22	30.4%	110.15	20.3%	543.42
2001	290.46	49.5%	177.47	30.3%	118.40	20.2%	586.33
2002	300.75	49.5%	184.22	30.3%	122.91	20.2%	607.88
2003	311.75	49.4%	191.31	30.3%	127.59	20.2%	630.65
2004	316.30	49.4%	194.31	30.3%	129.66	20.3%	640.28

資料: Grünerr Bericht 2005, p. 247

図表 11: ÖPUL 助成額の 10 年間の分担割合 (EU, 国, 州)



資料: Grüner Bericht 2005, p. 247

6 公的助成金の構成と分布状況

図表 12～22 は、農業環境支払いを含めた公的助成金の構成と分布状況を示している。分布状況は、地域別、部門別で表している。

図表 12: EU 条件不利地域支払いの 10 年間の推移(参加農家数, 面積, 助成額)

年	参加農家数※1	困難度ポイントを得た農家数	総農家数に対する割合※2	参加農家の農地総面積	助成額※3				国家助成額
					EU	連邦	州	計	
	戸	戸	%	ha	百万 €	百万 €	百万 €	百万 €	百万 €
1995	125,827	83,572	57.0	1,526,875	42.06	96.86	64.57	203.49	25.55
1996	124,350	82,407	57.0	1,510,605	44.54	98.89	65.92	209.35	23.25
1997	124,944	81,666	58.8	1,562,713	44.13	99.47	66.32	209.92	24.24
1998	124,246	81,138	60.0	1,563,086	44.24	99.43	66.28	209.95	19.87
1999	123,086	80,673	61.1	1,554,343	43.30	97.00	64.66	204.96	19.45
2000	116,735	77,519	59.8	1,512,917	90.66	66.03	44.02	200.71	19.40
2001	116,954	76,466	61.8	1,638,334	138.10	85.57	57.07	280.74	6.41
2002	115,605	75,733	63.2	1,628,025	65.58	129.79	86.54	281.91	6.01
2003	114,501	74,223	64.8	1,644,322	95.56	110.96	73.97	280.49	5.66
2004	113,228	73,543	66.3	1,647,690	75.55	122.90	81.85	280.30	5.45

※1 国家助成を受ける農家を含む。
 ※2
 ※3

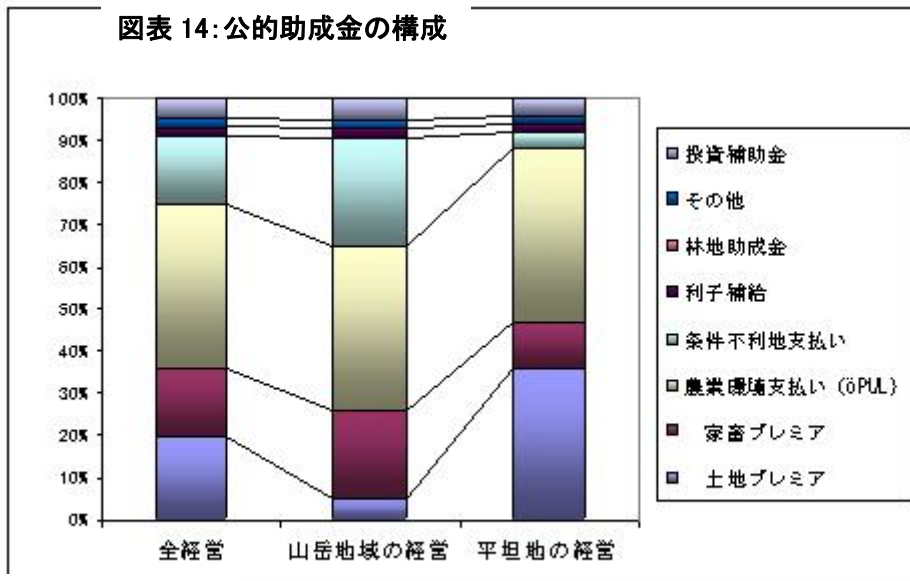
資料 : Grünerr Bericht 2005, p. 249

図表 13: 公的助成金の構成(2004 年)

		林業収入 50%以上 の経営	林業収入 25~50% の経営	酪農経営	混合経営	穀作経営	永年作 物経営	加工型畜 産経営	全経営	山岳地域 の経営	平地地 の経営
経営当たり公的助成金額											
市場政策プレミア		3,581	4,169	5,366	6,696	10,937	2,162	7,099	5,978	4,553	7,386
内訳	土地プレミア	376	622	1,338	4,684	10,522	2,125	6,948	3,340	931	5,719
	家畜プレミア	3,205	3,547	4,028	2,011	416	37	151	2,638	3,622	1,667
農業環境支払い (ÖPUL)		5,780	6,100	6,070	5,537	10,184	5,389	3,943	6,481	6,458	6,505
条件不利地支払い		4,403	4,425	3,521	1,275	497	315	514	2,576	4,523	652
利子補給		170	212	267	262	325	225	303	264	263	265
林地助成金		122	100	50	25	11	6	17	46	66	26
その他		442	276	349	265	214	305	548	332	362	302
計		14,498	15,281	15,622	14,059	22,168	8,402	12,424	15,677	16,225	15,136
投資補助金		608	1,599	696	198	235	1,430	482	718	858	580
合計		15,106	16,880	16,318	14,257	22,402	9,833	12,906	16,395	17,083	15,716
粗収入に占める割合		32.7	31.6	26.9	20.3	29.3	13.9	10.8	24.4	29.9	20.4
労働力1人当たり公的助成金		12,694	11,971	10,735	9,901	20,937	5,784	8,901	11,546	11,465	11,641
パーセント											
市場政策プレミア		24	25	33	47	49	22	55	36	27	47
内訳	土地プレミア	2	4	8	33	47	22	54	20	5	36
	家畜プレミア	21	21	25	14	2	0	1	16	21	11
農業環境支払い (ÖPUL)		38	36	37	39	45	55	31	40	38	41
条件不利地支払い		29	26	22	9	2	3	4	16	26	4
利子補給		1	1	2	2	1	2	2	2	2	2
林地助成金		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		3	2	2	2	1	3	4	2	2	2
投資補助金		4	9	5	2	1	15	4	5	5	4
合計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
経営当たり公的助成金額の分布											
区分 (ユーロ)											
0 ~ 2,500 未満		7.3	1.6	1.0	5.0	0.0	24.8	7.1	3.9	0.7	7.0
2,500 ~ 5,000 未満		7.9	4.1	7.6	14.0	3.8	23.8	18.7	9.1	3.6	14.8
5,000 ~ 7,500 未満		0.9	6.7	10.2	14.0	13.5	12.2	15.3	10.5	7.7	13.3
7,500 ~ 10,000 未満		17.0	12.7	12.0	10.4	12.8	11.7	9.7	12.1	13.6	10.9
10,000 ~ 12,500 未満		17.0	16.0	12.3	15.8	8.3	6.0	9.5	11.8	14.0	9.6
12,500 ~ 15,000 未満		5.6	11.9	11.0	9.5	5.0	2.5	9.6	8.9	10.7	7.1
15,000 ~ 17,500 未満		12.3	11.3	10.5	3.9	6.7	3.7	7.5	9.0	12.0	5.9
17,500 ~ 20,000 未満		8.3	12.8	8.5	4.7	6.0	3.0	4.9	7.6	10.1	5.0
20,000 ~ 22,500 未満		4.6	3.7	6.9	5.9	5.7	0.6	4.1	5.5	6.4	4.6
22,500 ~ 25,000 未満		5.8	4.9	4.2	4.1	5.1	1.2	2.4	4.1	5.2	3.1
25,000 ~ 27,500 未満		3.1	2.7	3.0	1.8	4.0	2.7	2.7	3.0	3.2	2.8
27,500 ~ 30,000 未満		3.5	2.1	3.0	1.7	4.5	1.2	0.7	2.8	2.9	2.7
30,000 ~ 32,500 未満		1.1	0.6	1.9	1.5	4.2	1.6	1.3	2.0	1.7	2.3
32,500 ~ 35,000 未満		1.1	1.6	2.0	0.8	3.0	1.4	0.7	1.9	1.8	1.9
35,000 ~ 37,500 未満		0.0	0.3	1.1	1.9	1.9	0.3	1.3	1.1	0.9	1.3
37,500 ~ 40,000 未満		1.1	1.1	0.8	1.7	1.5	0.0	1.3	1.0	1.0	1.0
40,000 ~ 42,500 未満		0.3	1.8	0.5	0.0	1.2	0.3	0.3	0.7	0.8	0.6
42,500 ~ 45,000 未満		0.6	0.0	0.9	0.5	0.9	0.0	0.3	0.7	0.8	0.5
45,000 ~ 47,500 未満		1.4	2.4	0.6	0.9	1.6	0.3	0.7	1.0	1.2	0.8
47,500 ~ 50,000 未満		0.5	0.2	0.5	0.4	1.8	0.3	0.0	0.6	0.5	0.7
50,000 以上		0.6	1.5	1.5	1.5	8.5	2.4	1.9	2.7	1.2	4.1
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

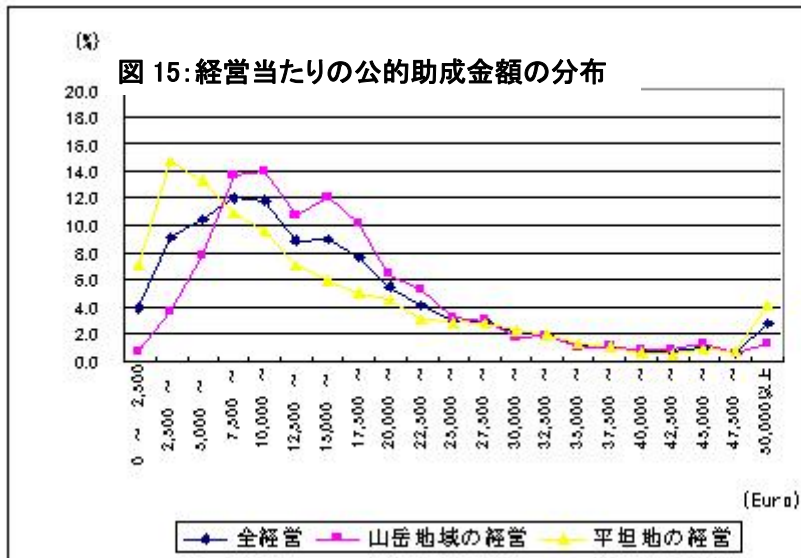
資料: Grünerr Bericht 2005, p. 223

図表 14: 公的助成金の構成

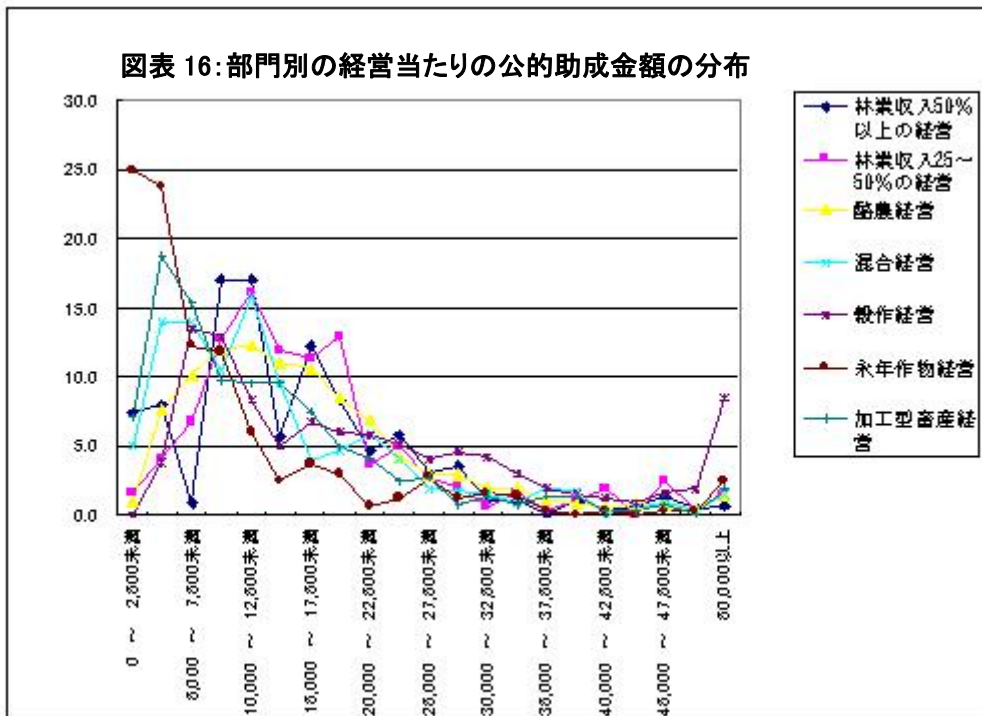


資料：図表 13 より作成

図 15: 経営当たりの公的助成金額の分布



資料：図表 13 より作成



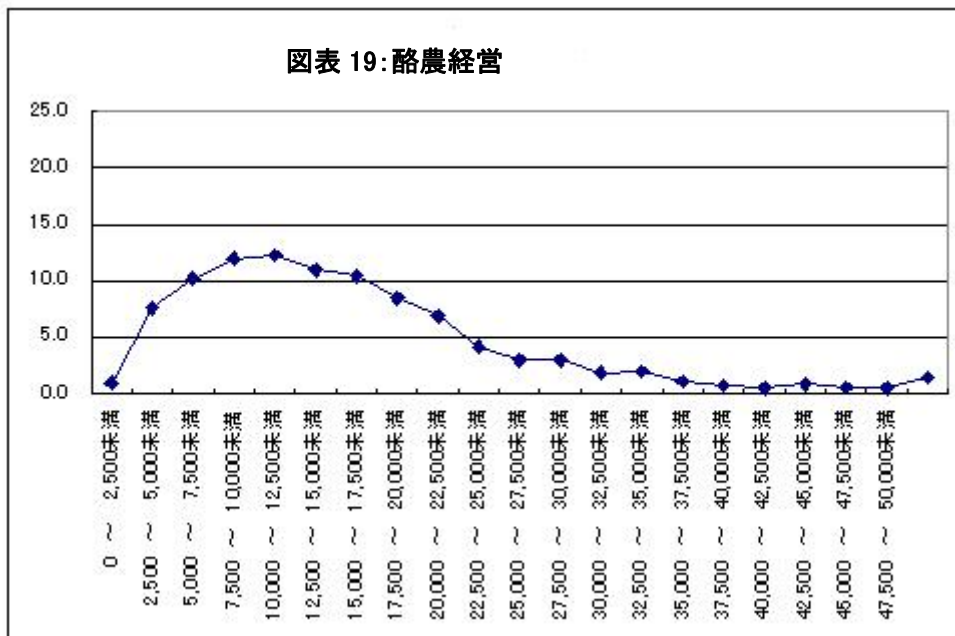
資料：図表 13 より作成



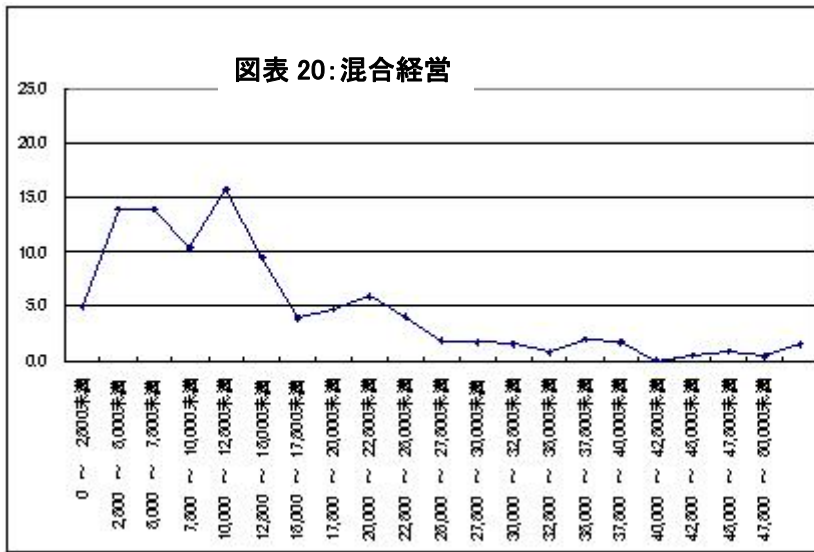
資料：図表 13 より作成



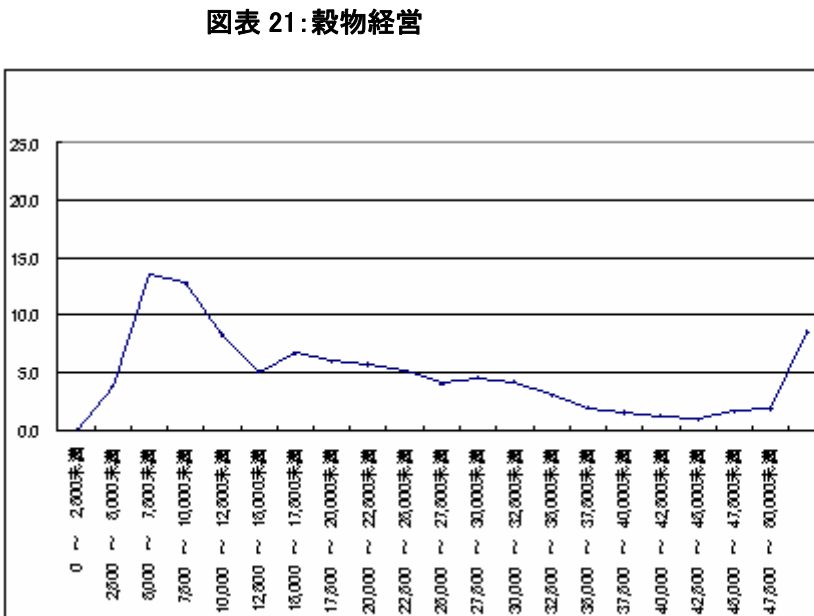
資料：図表 13 より作成



資料：図表 13 より作成

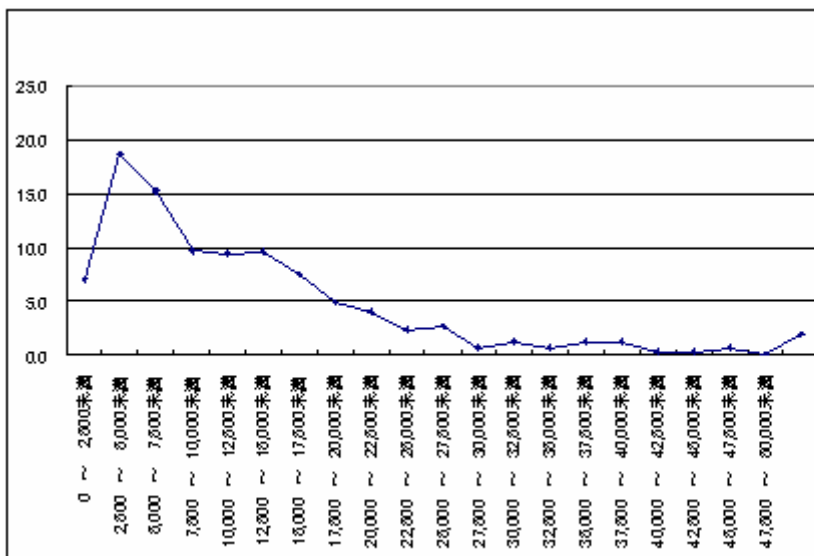


資料：図表 13 より作成



資料：図表 13 より作成

図表 22:加工型畜産経営



資料：図表 13 より作成

7 農業環境支払いの金額別助成件数の構成

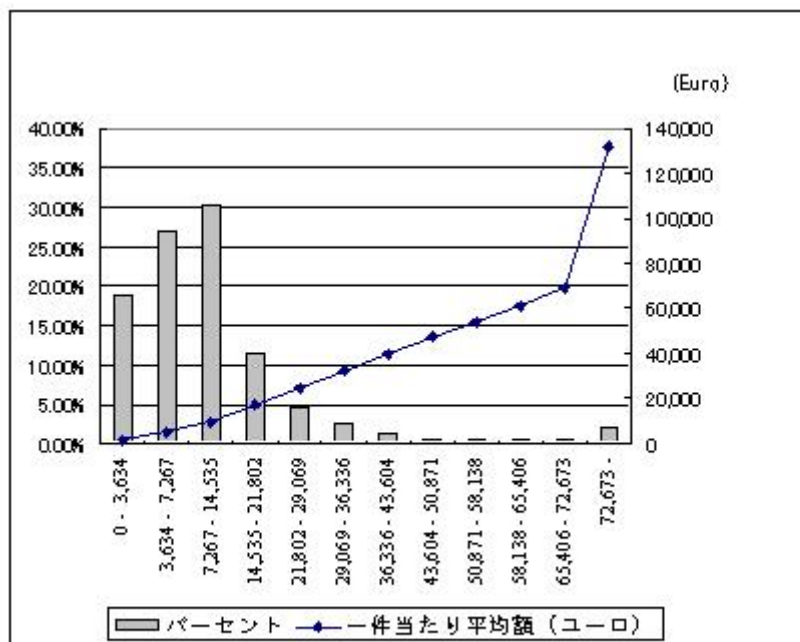
農業環境支払いの金額別助成件数の構成は、図表 23 に表されている。一件当たり助成金額の小さなものが大部分である。

図表 23: 農業環境支払い (ÖPUL)の金額別助成件数の構成(2004 年, 全国)

金額区分 (ユーロ)	助成件数 (経営数)	パーセント	金額 (ユーロ)	パーセント	一件当たり平均 額 (ユーロ)
0 - 3,634	74,818	55.79%	121,656,681	18.95%	1,626
3,634 - 7,267	33,237	24.78%	172,466,587	26.86%	5,189
7,267 - 14,535	19,589	14.61%	194,358,442	30.27%	9,922
14,535 - 21,802	4,198	3.13%	73,126,051	11.39%	17,419
21,802 - 29,069	1,216	0.91%	30,067,380	4.68%	24,726
29,069 - 36,336	506	0.38%	16,286,473	2.54%	32,187
36,336 - 43,604	212	0.16%	8,381,816	1.31%	39,537
43,604 - 50,871	102	0.08%	4,800,655	0.75%	47,065
50,871 - 58,138	71	0.05%	3,841,954	0.60%	54,112
58,138 - 65,406	39	0.03%	2,377,285	0.37%	60,956
65,406 - 72,673	31	0.02%	2,144,535	0.33%	69,179
72,673 -	95	0.07%	12,498,354	1.95%	131,562
合計	134,114	100.00%	642,006,213	100.00%	4,787

資料：Grünerr Bericht 2005, p. 261

図表 24: 農業環境支払い(ÖPUL)の金額別助成件数の分布



資料：図表 22 より作成

図表 25: 農業環境プログラム (ÖPUL) - 助成面積 1ha 当たりのプレミアム(ユーロ)

	in Euro/ha		in Euro/ha
1 Grundförderung		10 Verzicht Herbizide Wein	72.6728
Ackerland	36.3364	11 Integrierte Produktion Gemüse	436.0370
Spezialkulturen		Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728
Obst und Wein	72.6728	Zuschlag bei mind. 3 Zusatzoptionen	145.3456
andere Spezialkulturen	36.3364	12 Integrierte Produktion Zierpflanzen	436.0370
Grünland		Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728
Mehrmähdiges Grünland, Kulturweide, Einmähdiges Grünland und Streuwiese		Zuschlag bei mind. 3 Zusatzoptionen	145.3456
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	43.6037	13 Integrierte Produktion geschützter Anbau	
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	72.6728	Folientunnel	#####
Hutweide		Glashaus und befestigte Tunnel	#####
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	26.1622	Zuschlag für Nützlingseinsatz	#####
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	43.6037	14 Verzicht Wachstumsregulatoren	
2 Biologische Wirtschaftsweise		für Getreide ohne Mais, Hirse (inkl. Sorghum), Emmer, Einkorn	43.6037
Ackerland		15 Verzicht Fungizide	
Feldgemüse		für Raps und Getreide ohne Mais	72.6728
einkulturig	508.7098	16 Silageverzicht in bestimmten Gebieten	
mehrkulturig	654.0555	förderbare Futterfläche	185.3157
Erdbeeren	654.0555	17 Offenhaltung der Kulturlandschaft	
Baumschul- und Hopfenflächen auf Ackerland	799.4011	Hangneigung 25% - 35% für gemähte Fläche	145.3456
sonstiges Ackerland	327.0277	Hangneigung 35% - 50% für gemähte Fläche	232.5530
Grünland		Hangneigung über 50% für gemähte Fläche	363.3641
Mehrmähdiges Grünland und Kulturweiden		Bergmahd für gemähte Fläche	218.0185
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	159.8802	18 Alpeng und Behirtung	
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	250.7212	Milchkühe	159.8802

Einmähdiges Grünland, Streuwiese, Hutweide und Bergmäher		Pferde	72.6728
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	150.4327	Rinder (ohne Milchkühe), Schafe, Ziegen	50.8709
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	95.9281	Zuschlag bei Behirtung von Rindern, Pferden, Schafen, Ziegen	21.8018
<i>Wein-, Erwerbsobst-, Gartenbau- und Baumschulflächen</i>		Zuschlag für besondere und dauerhafte Erschwernisse für nicht erschlossene Almen, wenn das Wirtschaftszentrum der Alm nur über	
Zuschläge			
zu IP in geschütztem Anbau	363.3641	einen Fuß- oder Viehtriebweg erreichbar ist	30%
für die ersten 10 ha bei EU-konformer Kontrolle	36.3364	Materialeilbahn oder mit Spezialfahrzeugen erreichbar ist	20%
3 Verzicht Betriebsmittel Grünland		Seilbahn im Werksverkehr erreichbar ist	10%
Mehrmähdiges Grünland und Kulturweiden	159.8802	19 Haltung gefährdeter Haustierrassen (1)	
Einmähdiges Grünland, Streuwiese, Hutweide und Bergmäher	95.9281	Kuh, belegfähige Stute	145.3456
4 Verzicht Betriebsmittel Acker		Mutterschaf, Mutterziege	21.8018
<i>Gemüse im Freiland</i>		Zuchtsau (ab dem 1. Abferkeln)	43.6037
einkulturig	290.6913	Zuchtstier, Zuchthengst	436.0370
mehrkulturig	436.0370	Widder, Bock	65.4055
Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728	Zuchteber (ab 6 Monate)	130.8111
Zuschlag bei 3 Zusatzoptionen	145.3456	Zuschlag für Rind und Pferd	145.3456
<i>Erdbeeren im Freiland</i>	436.0370	Zuschlag für Schaf und Ziege	21.8018
Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728	Zuschlag für Zuchtsau	43.6037
Zuschlag bei 3 Zusatzoptionen	145.3456	20 Anbau seltener landwirtschaftlicher Kulturpflanzen	
<i>sonstiges Ackerland</i>	218.0185	Sortenkategorie A	145.3456
5 Reduktion Betriebsmittel Grünland		Sortenkategorie B	290.6913
<i>Mehrmähdiges Grünland und Kulturweiden</i>		21 Erhaltung Streuobstbestände	109.0092
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	69.0391	22 Begrünung von Ackerflächen	
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	98.1083	Bei Anbau der Variante D mit einer der anderen drei Varianten ist für die Prämienermittlung ein Mischsatz aus dem Verhältnis des Ausmaßes der Begrünung in der jeweiligen Variante zu errechnen	
(Optionaler Zuschlag aus Landesmitteln)	10.9009	Variante A, B, C	50.8709
<i>Einmähdiges Grünland, Streuwiese, Hutweide und Bergmäher</i>		Variante D	72.6728
<0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	41.4235	Stufe G2 und E2 bei Anlegung von	
≥0,5 GVE/ha förderbare Grünlandfläche	58.8649	Variante A, B, C	87.2074
(Optionaler Zuschlag aus Landesmitteln)	6.5405	Variante D	109.0092
6 Reduktion Betriebsmittel Acker		23 Erosionsschutz Acker	43.6037
Eine Prämienengewährung für Getreide und Mais erfolgt für max. 55% der Ackerfläche des Betriebes		24 Erosionsschutz Obst	
<i>Getreide</i>	98.1083	Hangneigung <22%	145.3456
Zuschlag für Verzicht auf Wachstumsregulatoren	18.1682	Hangneigung ≥22%	290.6913
Zuschlag für Verzicht auf Fungizide	25.4354	25 Erosionsschutz Wein	
Zuschlag kann bei Kombination nicht kumuliert werden.		Hangneigung <25%	145.3456
<i>Mais</i>	72.6728	Hangneigung 25% - <40%	290.6913
Zuschlag bei Zusatzoption	58.1382	Hangneigung 40% - <50%	508.7098
<i>Ölsaaten</i>	98.1083	Hangneigung ≥50%	799.4011
Zuschlag bei Verzicht auf Fungizide	18.1682	26 Kleinräumige Strukturen	
<i>Feldgemüsebau, Heil- und Gewürzpflanzen im Freiland</i>		max.	254.3549
einkulturig	290.6913	Zuschlag für Kleinschlägigkeit von Ackerflächen	
mehrkulturig	436.0370	0,1 bis < 0,5 ha	109.0092
Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728	0,5 bis < 1,0 ha	36.3364
Zuschlag bei 3 Zusatzoptionen	145.3456	27 Pflege ökologisch wertvoller Flächen	
<i>Erdbeeren im Freiland</i>	436.0370	max.	872.0740
Zuschlag bei 2 Zusatzoptionen	72.6728	28 Neuanlegung Landschaftselemente	
Zuschlag bei 3 Zusatzoptionen	145.3456	max.	835.7375
<i>Erdäpfel</i>	218.0185	Zuschlag für die Mitarbeit bei der Erstellung eines Naturschutzplanes	
Zuschlag bei Zusatzoption	109.0092	Es werden max. 10 Feldstücke pro Betrieb gefördert	72.6728

<i>Mohn, Kümmel, Mariendistel, Lein</i>	218.0185	29 Ökopunkte Niederösterreich	
Zuschlag bei Zusatzoption	72.6728	Ackerland, Grünland (je Ökopunkt)	13.0811
<i>Vermehrung von Futtergräsern und kleinkörnigen Leguminosen</i>	116.2765	Dauerkulturen (je Ökopunkt)	26.1622
<i>Hopfen</i>	363.3641	30 Salzburger Regionalprojekt (2)	130.8111
Zuschlag für Zusatzoption	145.3456	31 Projekte Gewässerschutz	50.8709
7 Integrierte Produktion Obst	436.0370	Betriebsbezogene Nährstoffbilanzierung (je Betrieb) (3)	109.0092
8 Verzicht Herbizide Obst	72.6728	32 Erstellung Naturschutzplan	
9 Integrierte Produktion Wein	436.0370	je Feldstück (bis max. 10 Feldstücke)	72.6728
1) Prämienhöhe pro Stück. 2) Umfasst Grundwasserschutz und Erhaltung des Grünlandes. 3) Weitere Prämie projektspezifisch.			
Quelle: BMLFUW, Abteilung II 8.			

オーストリアの農業環境プログラムに関しては、松田裕子の優れた報告がある。

松田裕子「オーストリアにおける直接支払制度の概要と特徴－EU 加盟による影響と Agenda 2000 に基づく方向性－」平成 11 年度畜産経営安定化指導事業（生産経営技術向上事業）報告書『欧州における直接支払いの実際について－スイス、オーストリア、フィンランド、スウェーデン』平成 12 年 3 月、農政調査委員会・中央畜産会、24-59 頁。

